

3 / 6 校長講話

3月に入りました。

学校に登校するのも1～4年生は、13日。5、6年生は14日です。一年間のまとめの時期です。しっかりと振り返りをしてください。

さて、今から12年前の3月11日の14時46分に東北地方の沖合を震源とするととても大きな地震が発生しました。

東日本大震災です。

この地震により、波の高さが10メートル以上の巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生しました。

お亡くなりになった方、行方不明者は2万2千人以上。

建物が崩れたり流されたりした数は、40万戸以上。

震災直後の避難者は、約47万人。

です。とても大きな地震によって尊い生命が奪われたり、住む家が一瞬にして亡くなったりしたのです。

私は、テレビを見ている時に避難所の様子が映し出されていきました。学校の体育館に大勢の人が避難してしていました。

そこには、毛布をくるんで横たわっている人。

疲れ切った表情で立ち尽くしている人。

行方不明の家族の安否を心配している人。

などの姿が見られました。

しかし、その会場の壁にこんな言葉が書いてありました。

「冬は必ず春となる」と…

どんなにつらくて寒い冬のような時期でも、必ず温かく心弾む春がくるという意味です。

この言葉を見た避難者の方はどのように感じたかな。

未来に希望を少しでも見いだせたのではないかと感じました。

「冬は必ず春となる」という言葉は皆さんにも当てはまります。

どんなにつらく苦しい時期があっても、春のような温かな未来が待っていることを信じてほしいと思います。